



2025年5月20日

各 位

会 社 名 株式会社極楽湯ホールディングス  
代表者名 代表取締役会長兼社長グループCEO 新川 隆丈  
(コード番号 2340 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員 管理部長 日高 航太  
電話番号 03(5275)4126 (代)

### 特別損失及び法人税等調整額（損）の計上

#### 2025年3月期 連結業績及び個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、2025年3月期第4四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）におきまして、特別損失及び法人税等調整額（損）を計上いたしました。また、当社は2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績及び個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 特別損失の内容

直営店舗の固定資産に対して各店舗単位で見積もりした回収不能見込額を減損損失100百万円として計上いたしました。

##### 2. 法人税等調整額（損）の内容

主に不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の見積りの変更に伴い会計上資産が増加し繰延税金負債を計上したことにより法人税等調整額（損）150百万円を計上いたしました。

##### 3. 業績に与える影響

本件につきましては、本日発表しました「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

#### 4. 2025年3月期通期連結業績

##### (1) 前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 14,082	百万円 748	百万円 720	百万円 697	円 銭 24.69
当期実績値 (B)	15,164	1,140	1,279	769	24.69
増減額 (B-A)	1,081	391	559	72	—
増減率 (%)	7.7%	52.4%	77.7%	10.4%	—

##### (2) 差異が生じた理由

売上高は、アニメコンテンツやVtuber等とのコラボイベントに加えて鹿児島県南種子町等の地域と連携したイベントが非常に好調に推移したことや、入館料金の改定、お盆や年末年始等の繁忙期に設定しているシーズン料金拡大等により、15,164百万円（前期比7.7%増）となりました。

営業利益は、売上高の増加に加えて、店舗の修繕や備品購入等による費用の計上があったものの、コラボイベント飲食メニュー等の高単価な商品が好調だったことや、入館料改定、シーズン料金拡大等の施策を行い利益率が向上したこと等が影響し、1,140百万円（前期営業比52.4%増）となりました。

また、持分法による投資利益が増加したことや、シンジケートローン手数料が減少したこと等により経常利益1,279百万円（前期比77.7%増）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、100百万円の減損損失の計上や繰延税金負債を計上したことで法人税等調整額が増加したこと等により769百万円（前期親会社株主に帰属する当期純利益697百万円）となりました。

## 5. 2025年3月期通期個別業績

### (1) 前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 865	百万円 373	百万円 312	百万円 1,519	円 銭 53.77
当期実績値 (B)	1,032	471	467	864	27.73
増減額 (B-A)	167	97	155	△654	△26.04
増減率 (%)	19.4%	26.0%	49.7%	△43.1%	—

### (2) 差異が生じた理由

連結子会社の業績向上が見られることを踏まえ、経営指導料を増額したこと等により売上高1,032百万円（前期比19.4%増）、営業利益471百万円（前期比26.0%増）となりました。

また、前期に発生があった金融取引正常化に伴う諸費用の計上が今期はなかったこと等から経常利益467百万円（前期比49.7%増）となりました。

当期純利益については、連結子会社の財政状態により見積もられる当該子会社の債権に対して計上している貸倒引当金の戻入が前期に比べ減少したことや、前期に発生した子会社株式売却益がなかったこと等により864百万円の当期純利益となりました。

以 上